

**製品名: DNMT3L マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81652**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	43.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DNMT3L
別名	DNMT3L
遺伝子 ID	29947.0
SwissProt ID	Q9UJW3
免疫原	大腸菌で発現したヒト DNMT3L (AA: 147-386) の精製された組み換え断片。

**背景**

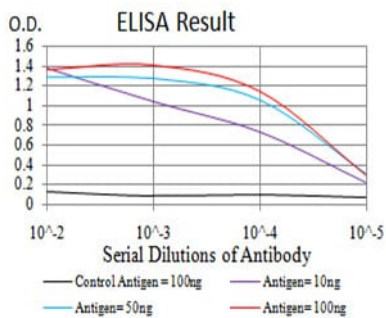
CpG メチル化は、胚発生、インプリンティング、および X 染色体不活性化に重要なエピジェネティック修飾です。マウスを用いた研究では、DNA メチル化が哺乳類の発生に必須であることが実証されています。この遺伝子は DNA メチル化酵素に類似した核タンパク

ク質をコードしますが、メチル化酵素活性に必要なアミノ酸残基を含まないため、DNAメチル化酵素として機能するとは考えられていません。しかし、DNAシトシンメチル化酵素3αによるde novoメチル化を刺激し、母性ゲノムインプリントの確立に必要であると考えられています。このタンパク質はまた、ヒストン脱アセチル化酵素1との相互作用を介して転写抑制を媒介します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。

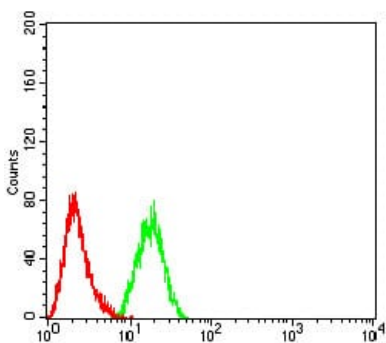
## 研究分野

-

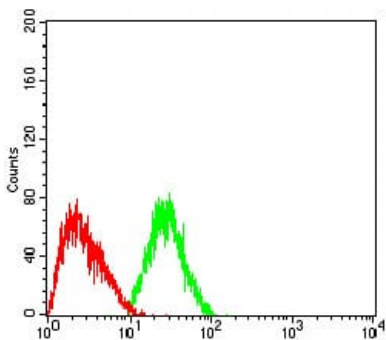
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



DNMT3L マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DNMT3L マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。